

「イノベーション探究Ⅰ」～地域再発見プログラム～第15回

1. 実施日

令和4年1月22日（土）1・2限

2. 場所

331・332 教室

3. 対象

グローバル科1年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校	教諭	6組	山中 脩平	中村 啓介
		7組	金本 瑞穂	矢野 和久

5. 内容

研究タイトルの決定と発表スライドの作成

(1) 研究タイトルの決定

探究の過程を振り返り、探究内容を表すキーワードや、アプローチの方法、探究の到達度などから、タイトルを決定するように話し合わせた。

(2) 研究計画書作成・文献調査・スライド作成

各チーム、来週の本番に向けてスライド作成や発表練習を行った。ソーシャル・インテリジェンスの授業においてもイノベーション探究Ⅰと連動してスライド作成を行っているので、その授業で指摘された課題などを教員・生徒で共有しながら質の高い発表スライド作成に向けて努力した。

6. 学び

自分たちの探究内容をタイトルとして1文で表すためにチームメイト間で対話することで、1年間の探究の過程を振り返ることになった。タイトルを決定するためにキーワード等を精選することで、自分たちの探究内容Ⅱに対する理解を深めた。

各チーム、発表用スライドを作成する中で、お互いの進捗状況を確認しあいながら探究内容の理解を深めることができた。本番に向けて問題点の修正も行った。

7. 次回への課題

研究発表会の本番に向けて、イノベーション探究以外の時間も適宜活用するよう指示した。

8. 授業の振り返り

一人一台タブレットを所有することのメリットが大きく感じられた。複数の端末を用いて一つのデータを編集したり、役割分担で別々の作業をしたりしながら、上手くコミュニケーションをとって作業をすることができた。タブレットが導入され7ヶ月が経過したが、質の高い作品を完成させるための必要なツールであると感じた。